

千葉経大新聞

第38号 発行
千葉経済大学
千葉市稲毛区轟町
3-59-5 (〒263-0021)
TEL.043(253)9111(代)
FAX.043(254)6600
http://www.kcu.ac.jp

経済学と

エコノミーとどう言葉

学長 小浦 敏之



二十世紀英米哲学界の最高峰と目された哲学者で数学者でもあったアルフレッド・ノース・ホワイ

ば、社会科学は言葉の有限な概念で人間社会の無限の営みを言い表そうとする試みであるといつてよいが、今日、社会科学の女王ともてはやされるようになった経済学は、果たして人間社会の営みをどれほど言い表すことに成功しているであろうか。その答えはここでは留保せざるをえないが、経済学の研究対象とする「経済」や「エコノミー」という言葉は、かつて今日とはかなり異なった意味合いで用いられていたことを知っておくのも無益ではなからう。

現代にも生きる『論語』

経済学部長・経済学科長 鈴木 信雄



社会に出るための最後の準備期間である大学では、社会人として世に出ることを意識しながら、学生生活を送る必要があります。大

成する場でもあります。わたくし自身「ちゃんとした大人」であるかどうか甚だ心許ないのではあります。そうありたいと心がけています。しかも、立派ではなくとも「ちゃんとした大人」であるためには、単に学力が優秀であったり、商売が上手であるだけでは充分ではありません。では「ちゃんとした大人」とはどんな存在であるべきなのでしょう。このことは古くから賢人・哲人と呼ばれていた人々によって問題とされてきたところのものです。たとえば、最近の、仏教・仏教史研究の第一人者である末木文美士『論語』も「ちゃんとした大人」

月の「大学規則」及び同年閏十月の「大学南校規則」で「利用厚生学」という名称が用いられているほか、明治十四年（一八八一年）の「東京大学規則」では「理財学」という名称に改められた。「理財」とは古代中国の経書「易経」にある「理財正辞（財を理（おさ）め、辞を正す）」に由来する言葉だが、「理財学」という言葉の方が慣用語として広く流布していたこともあり、明治二十六年（一八九三年）九月の帝国大学法科大学の学科改正時から講座名として「経済学」という名称が正式に用いられるようになったのである。

その「経済学」が研究対象とする「経済」という言葉は、古代中国の「経国済民（国を経（おさ）め民を済（すく）う）」や「経世済民（世を済め民を済う）」から出たもので、むしろ「政治」や「行政」に近い意味合いの言葉であった点に注意しておく必要がある。江戸中期の儒学者・大宰春台（だざいしゅんたい）の『経済録』（一七一九年）にも「経済」という言葉が現れているが経国済民論であり、今日使われるような「経済」や「エコノミー」（富の社会的再生産過程）という意味はなかった。周知のとおり「エコノミー」という言葉自体、元来そのような意味を持っていたわけ

とは何か、あるいは「ちゃんとした大人」になるための要件とは何かを語られたものです。孔子を中心とした言行録である『論語』は、孔子の没後（B・C四七九）、その門人たちによって長い間をかけて整理され、紀元前二世紀、漢の初めのころ集大成され、編纂されたものであるといわれています。黄河流域から南方へ子貢や顔回（顔淵）などを伴って十四年にも亘って流浪する孔子の姿は、弟子を伴いガリラヤ湖畔を放浪するイエスの姿を彷彿させるものがありますが、確かに古い話です。何を今更『論語』なのかという気もしないわけでもありません。しかし、実際に読んでみま



「教職課程がスタートします」

平成十八年度 教職課程作業委員会 委員長 藤森 友明

この四月より、高等学校の公民科（現代社会・倫理・政治経済）の教員免許状を取得することを可能にする教職課程がスタート

します。千葉経済大学の教員養成課程が、幼稚園教諭・小学校教諭だけでなく高等学校教諭も含めた観念を言い表す狙いであったことが理解されようし、これを「経済学」と翻訳した幕末の先覚の偉大さも理解されよう。今では「ポリテイカル」という形容詞を付さず「エコノミクス」という単語が用いられるが、この言葉に限らず一般的に言葉や概念というものは、時代とともにその意味や用法が大きく変化するものであることに留意する必要があります。

この課程は、千葉経済大学に今春入学した学生から選択することができます。高等学校の先生を目指す人はこの課程を選択する必要があります。公民科があります。教職課程は経済学もその一つです。千葉経済大学においては、経済学・経営学多くの科目の他に、法律学・政治学、社会学、哲学、倫理学等の科目を幅広く学習できるようにカリキュラムが組まれています。

卒業までに免許を取得できた人が高等学校の教員になろうとする場合、都道府県や市町村の実施する教員採用試験に合格する必要があります。私立の高等学校教員になろうとする場合はそれぞれの私立学校が実施する採用試験に合格する必要があります。

課程履修の登録をすることになります。一年生で一、四科目履修したけれども二年生になったときに登録しなかったときは、履修して単位を取得したという記録が成績とともに記録されます。全く無駄になるわけではありません。教員免許を取得するためにさらには二、四年と多くの科目を履修する必要があります。

四年次の教育実習まで含めると七十一単位（二単位科目換算で三十五・五科目）の履修が必要になります。この内約四十単位は卒業に必要な単位を履修することによって特段の負荷を感じることなく取得できます。残る約三十単位については、四年間で履修することになります。単純に平均すれば七・五単位となり二コマを教職課程のために割り振れば取得の可能性が出てくるということになります。

教員免許取得の副次的効果として一言申し添えておきたいと存じます。教員免許状は国が関与し、都道府県教育委員会から授与されます。公民に関する教科の授業を担当する能力の証明となるだけでなく、真面目さの証明、教育に関する興味・証明、対人能力の証明ともなります。近年、就職試験においてコミュニケーション能力が重視されるとの新聞記事等によく接します。二週間にわたる教育実習とこれの準備により、実践的コミュニケーション能力が身につけていることの証明にもなります。



発揮して、社会に出るための最後の準備期間である大学生活を充実したものに、「ちゃんとした大人」として果立っていただく。わたくしは千葉経済大学の教職員は、皆さんを大学の財産と考え、また皆さんがこの学舎で学んだことを誇りとすることを確信して、皆さんが希望に燃えてこの学舎を巣立っていきけるよう全力を尽くして支援をいたします。



経済学科 教授 菅根 幸裕

このたび、博物館学芸員課程科目及び民族文化論を担当させていた...



経済学科 教授 横山百合子

はじめまして。経済史は、数値分析に加え、数値の陰にかいま見...



経済学科 准教授 東 三鈴

皆さん、はじめまして。皆さんとは主に授業を通して接することになります...



経済学科 准教授 片岡 光彦

この度、本校に着任いたしました。これまで片岡光彦と申します。これまでシンクタンクの研究者として...



経済学科 講師 黒川 太

この四月より本学において勤務することになりました。これまでには研究センターで経済学と付き合っ...



経営学科 特任教授 太田 元

仕事の関係で三十七年間経済界の立場から、また、ワシントン・ロンドン駐在として広く世の中を見てきました...

新任教員所感



平成19年度 入学式



経済学部一年 篠塚 知啓



私は将来、高校の社会科の教師になり、野球部の監督になりたいと考えています。...

本学で入学して



経済学部一年 西村 麻利

近年、中国やインドなどアジアの国々は目覚ましい経済の発展で世界から注目されています。...

Aクラスであり、とてもレベルが高いと感じています。一部昇格を目指し、野球技術の向上と精神面を強めていきたいです。...

大学生活を一年間振り返って

平成19年度 特待生 経営学科2年 坂尾 砂織



私はこの一年間本学で充実した大学生活を送りました。一年次ということもあり大学生活に慣れるまでは戸惑うこともありましたが、先生方や友達のお陰でやってこられました。...

学内企業説明会が 開催されました

平成十八年度の学内企業説明会が、二月十三日(火)、十四日(水)に学生ホール(エステリア)で短期大学部と合同で開催されました。参加企業数は八十九社(前年度より二社増)で本学学生の採用実績のある企業の人事担当者様に参加下さいました。二日間の参加学生数は、大学生が百三十二名(前年度より百十二名減)、短大生は二百六十五名(前年度より六十九名増)の合計三百九十七名(前年度より四十三名減)になりましたが、参加企業の人事担当者様からは「男子大学生の数が期待したより少なかったのが残念」とのアンケートを頂きました。これは、二日目の大荒れの天候と幕張メッセで開催された合同企業説明会(就職サイト会社主催)と日が重なったことも影響しているとは思いますが、大学三年次生の二〇三が就職に意識が向いていないこと懸念材料を提供してくれました。事前の開催通知を充分に行いましたが、日本経済の劇的な復活による企業の好業績と団塊の世代の大量定年退職による人手不足を懸念して企業が新卒学生の採用増を積極的に実施する方針を打ち出し、売り手市場の方向に進んだことで学生側に余裕が出ていることも否めません。参加企業その他のアンケートを紹介すると、「しっかりと話を聞いていて、とても良かった」、「業界研究の要望があれば説明に参上します」から、「二つくらいの企業説明があると良い」、「二階にもっと学生が上がる工夫がほしい」など貴重な意見も頂戴しています。人気のある企業に学生が集まる傾向が見られたのですが、折角様々な業界より参加頂いていますので業界、業種、商品を研究するという観点からでも構わないので好奇心をもって積極的に話を聞きに行ってくださいと思います。参加頂いた企業



は、短大生が多数参加したことを高く評価して頂き、その後企業が独自に行う会社説明会へ多くの大学生、短大生が参加しており就職に対する本学学生の熱意の高さに企業よりお礼の電話を頂いています。同時に、企業に関して分からないことがあれば、どんなことでも質問してもらえれば丁寧の説明します。それが学生の皆さんの視野が広がり、就職、企業を新たな観点から考える手助けになれば嬉しいとの言葉も頂いています。本年参加頂いた企業より、来年度も参加しますとの話が既にきており、本学学生への評価を高く頂いています。

し、売り手市場の方向に進んだことで学生側に余裕が出ていることも否めません。参加企業その他のアンケートを紹介すると、「しっかりと話を聞いていて、とても良かった」、「業界研究の要望があれば説明に参上します」から、「二つくらいの企業説明があると良い」、「二階にもっと学生が上がる工夫がほしい」など貴重な意見も頂戴しています。人気のある企業に学生が集まる傾向が見られたのですが、折角様々な業界より参加頂いていますので業界、業種、商品を研究するという観点からでも構わないので好奇心をもって積極的に話を聞きに行ってくださいと思います。参加頂いた企業

は、短大生が多数参加したことを高く評価して頂き、その後企業が独自に行う会社説明会へ多くの大学生、短大生が参加しており就職に対する本学学生の熱意の高さに企業よりお礼の電話を頂いています。同時に、企業に関して分からないことがあれば、どんなことでも質問してもらえれば丁寧の説明します。それが学生の皆さんの視野が広がり、就職、企業を新たな観点から考える手助けになれば嬉しいとの言葉も頂いています。本年参加頂いた企業より、来年度も参加しますとの話が既にきており、本学学生への評価を高く頂いています。

し、売り手市場の方向に進んだことで学生側に余裕が出ていることも否めません。参加企業その他のアンケートを紹介すると、「しっかりと話を聞いていて、とても良かった」、「業界研究の要望があれば説明に参上します」から、「二つくらいの企業説明があると良い」、「二階にもっと学生が上がる工夫がほしい」など貴重な意見も頂戴しています。人気のある企業に学生が集まる傾向が見られたのですが、折角様々な業界より参加頂いていますので業界、業種、商品を研究するという観点からでも構わないので好奇心をもって積極的に話を聞きに行ってくださいと思います。参加頂いた企業

は、短大生が多数参加したことを高く評価して頂き、その後企業が独自に行う会社説明会へ多くの大学生、短大生が参加しており就職に対する本学学生の熱意の高さに企業よりお礼の電話を頂いています。同時に、企業に関して分からないことがあれば、どんなことでも質問してもらえれば丁寧の説明します。それが学生の皆さんの視野が広がり、就職、企業を新たな観点から考える手助けになれば嬉しいとの言葉も頂いています。本年参加頂いた企業より、来年度も参加しますとの話が既にきており、本学学生への評価を高く頂いています。

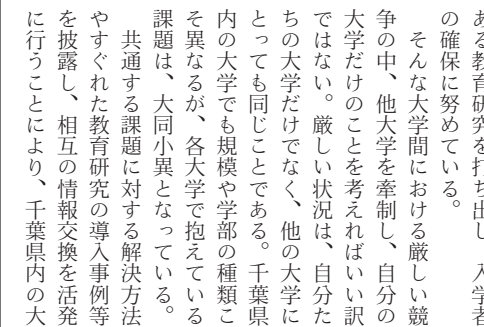
本学で開催 第14回千葉県教務事務 担当者連絡会

現在、全国の大学生の数は、約二百五十万人になる(平成十八年度文部科学省学校基本調査より)。このうち、千葉県内の学部学生数は、約十万八千人となっており、千葉県の学部学生数は、全国の約四・三%に過ぎない。しかし、都道府県別に見ると九番目に学生数が多い都道府県となっている。



約二百五十万人になる(平成十八年度文部科学省学校基本調査より)。このうち、千葉県内の学部学生数は、約十万八千人となっており、千葉県の学部学生数は、全国の約四・三%に過ぎない。しかし、都道府県別に見ると九番目に学生数が多い都道府県となっている。

ある教育研究を打ち出し、入学者の確保に努めている。そんな大学間における厳しい競争の中、他大学を牽制し、自分の大学だけのことを考えればよい訳ではない。厳しい状況は、自分たちの大学だけでなく、他の大学にとっても同じことである。千葉県内の大学でも規模や学部の種類こそ異なるが、各大学で抱えている課題は、大同小異となっている。



ある教育研究を打ち出し、入学者の確保に努めている。そんな大学間における厳しい競争の中、他大学を牽制し、自分の大学だけのことを考えればよい訳ではない。厳しい状況は、自分たちの大学だけでなく、他の大学にとっても同じことである。千葉県内の大学でも規模や学部の種類こそ異なるが、各大学で抱えている課題は、大同小異となっている。

心掛けたことは、入室しやすい雰囲気を作る、利用しやすい室内レイアウトにする、学生とのコミュニケーションを円滑にする、就職に関する求人情報を迅速に提供する、学生からの相談はどんなことでも丁寧に対応する、主体は学生でキャリアセンター職員は支援に専念する、学生が卒業後に自分で歩いているような支援を行う、などです。部屋のレイアウトは、学生一人一人と十分に話し合いができるように対面机を置き、向かい合って相談を行う配置を採用することで、今まで以上に学生へきめ細かな相談を行っています。就職についての相談も十分に時間をかけて話し合いを行い、学生の悩

心掛けたことは、入室しやすい雰囲気を作る、利用しやすい室内レイアウトにする、学生とのコミュニケーションを円滑にする、就職に関する求人情報を迅速に提供する、学生からの相談はどんなことでも丁寧に対応する、主体は学生でキャリアセンター職員は支援に専念する、学生が卒業後に自分で歩いているような支援を行う、などです。部屋のレイアウトは、学生一人一人と十分に話し合いができるように対面机を置き、向かい合って相談を行う配置を採用することで、今まで以上に学生へきめ細かな相談を行っています。就職についての相談も十分に時間をかけて話し合いを行い、学生の悩

心掛けたことは、入室しやすい雰囲気を作る、利用しやすい室内レイアウトにする、学生とのコミュニケーションを円滑にする、就職に関する求人情報を迅速に提供する、学生からの相談はどんなことでも丁寧に対応する、主体は学生でキャリアセンター職員は支援に専念する、学生が卒業後に自分で歩いているような支援を行う、などです。部屋のレイアウトは、学生一人一人と十分に話し合いができるように対面机を置き、向かい合って相談を行う配置を採用することで、今まで以上に学生へきめ細かな相談を行っています。就職についての相談も十分に時間をかけて話し合いを行い、学生の悩

最後に、今後の取り組むべき課題は、まだキャリアセンターを訪れていない学生に一度来て頂くことです。一度、訪問して相談を受けた学生はキャリアセンターの存在価値を認めてもらえたようであり、ピーターとなっています。また、就職活動に直面する三〜四年次生だけでなく、入学したばかりの一年次生と二年次生に入室して頂くことです。数名の一〜二年次生が入室して資料などを閲覧していきましたが九十五%以上の一〜二年次生が利用していません。キャリアセンターの職員は低学年の学生の相談も喜んで受けますので入室を心待ちにしています。

最後に、今後の取り組むべき課題は、まだキャリアセンターを訪れていない学生に一度来て頂くことです。一度、訪問して相談を受けた学生はキャリアセンターの存在価値を認めてもらえたようであり、ピーターとなっています。また、就職活動に直面する三〜四年次生だけでなく、入学したばかりの一年次生と二年次生に入室して頂くことです。数名の一〜二年次生が入室して資料などを閲覧していきましたが九十五%以上の一〜二年次生が利用していません。キャリアセンターの職員は低学年の学生の相談も喜んで受けますので入室を心待ちにしています。



父母の会安全報

父母の会では、学生が快適なキャンパスライフを過ごせるために、大学の施設及び設備を充実させるための様々な支援、クラブ・同好会に対しての援助、また学校行事、各種の講習会やガイダンスに関する資金の提供など様々な補助(支援)を行っています。

最終的な決算のご報告は、五月



の総会にてご報告・承認をいただき、次号の大学新聞に掲載する予定です。ここにその概要をお知らせいたします。

また、先に述べましたとおり、五月中旬の土曜日には父母の会総会が行われます。この総会は、①平成十八年度決算・平成十九年度予算②平成十九年度役員改選③十九年度年間行事予定などについて審議し、ご承認をいただく予定であります。なお、総会に先立ち父母とゼミ担当教員との個別面談も実施されます。この個別面談はその学生の成績も含め、普段学生が大学内でどのように生活しているか、直接指導をしているゼミ担当教員から色々な話を聞くことのできる貴重な機会だと思われ



さらに、個別面談・定期総会終了後には、学生ホールにて懇親会も開かれます。懇親会にはゼミ担当教員も参加しますので、個別面談では時間が足りず、もう少し細かい話を聞きたいと思われる父母の方々には、大学の事情や担当教員の人となりも知ることが出来ると非常に好評をいただいております。

この個別面談・定期総会・懇親会についてのご案内は改めて差し上げます。お子様がどのような環境で学生生活を過ごしているのか理解される一助となることもございますので、お時間の許す限りご参加いただきますようお願いいたします。

平成18年度 父母の会支出概要(項目別)

項目	金額(千円)	備考
個別面談・地域懇親会	611	
安全運転講習会	116	
オリエンテーションキャンプ	160	
スポーツ大会	294	
トレーニングルーム講習会	25	
大 学 祭	300	
クリスマスパーティー	50	
クラブ貸出用ワゴン車諸経費	3,081	リース料、保険料
クラブ活動助成金	2,309	
課外活動団体奨励金	160	
就職模擬験等	1,469	
就職情報交換会	1,246	
学内会社説明会	1,035	
父母向け学生ハンドブック印刷代	347	
各種郵送代	489	
卒業式謝恩会	1,000	
附属高校甲子園出場寄付	2,000	2006夏、2007春

同窓会安全報

「同窓会会報」では、長年にわたり、本学で教鞭をとられ、平成十九年三月に退職された二名の先生から本学での思い出をいただきました。

老教授の卒業の辞

千葉経済大学名誉教授(平成十九年三月退職)

宇佐美 良雄



私も定年を迎え、二〇〇六年度の卒業生諸君と一緒に、この春に千葉経済大学を卒業した。大学創立三年目の一九九一年の春に本学に赴任してきたので、この春で十六年間の長きにわたって、学部学生や大学院学生の諸君と一緒に勉強してきたことになる。

若い学生諸君から沢山のエネルギーを頂き、一緒に勉強できたお陰で、今日まで文字通りの浅学非才の身に教壇に立つことが出来たことを、何よりの幸せと心から感謝している。学部学生、大学院学生、また、それぞれのOBの諸兄弟姉妹に対して、先ず心から厚く御礼を申し上げたい。また、体調が不十分だったために、自分が望んでいた程には十分に指導が出来なかつた事に対して、更めて諸兄弟姉妹にお詫びを申し上げる次第である。

赴任直後から、直ぐに大学院の開設の方針が打ち出され、準備委員会が設けられて、柴田啓次元教授が委員長、私が副委員長となつて、約一年間で大学院の開設に漕ぎ着けたことは、懐かしい思い出である。本学の大学院は、元来は前理事長の方針で地方公務員の再

さらには就職の指導をも受けることよって、一対一、または一対多の形で、人格と人格の触れ合いができることが、学生諸君にとっての教育効果には極めて大きいものがあると思う。この「少人数制必修ゼミ」の制度は、本学の根幹をなす制度だと考えるので、今後ともこの制度を大切に頂くことを、教職員の皆さんと学生諸君に是非ともお願いをしておきたい。

内村鑑三の言葉に、「師たるを知って、友たるを知らざる者は、師たるの資格は無い。」との名言があるが、私は、この言葉をいつも心に刻んできた積りである。教壇から教える間はあくまでも教師であるが、一旦教壇を降りれば、友人として視線を同じくして学生諸君に接することが一番大切であると考えてきた。十四年間の私の過去の演習の学生名簿の頁を繰りながら眺めていると、その時々学生諸君のそれぞれの顔と声が走馬灯のように頭を駆け巡り、いろいろな思い出が懐かしく甦ってくる。彼は今どうしているだろうか、彼女は今どうしているだろうか、是非とも知りたいし、訪ねて行って話してみたい気持ちで一杯になっているので、私の名前で検索を下させて、私の演習のOBである諸兄弟姉妹から近況報告のメールを頂ければ、非常に有難く、嬉しく思う。

現在では、税理士のOBの集りだけでも、既に五十人余を数えている。千葉県下の税理士グループとしてはかなり有力な、非常に結束力のある団体に育ってきていることは本心に嬉しいことで、今後はさらに大学の大きな財産に育って行くことと確信している。これには、それぞれの担当教授の特別なご尽力が大きかったことは勿論のことだが、院生OB側のご努力にも大変大きなものがあつたと思つと、洵に感謝に堪えない次第である。

一九九五年春から九七年春にかけて、二年間教務部長を務めさせて頂いた。この間大した仕事はできなかつたが、現在の「少人数制必修ゼミ」を明確に制度化できたことが唯一の貢献であつたかと考えている。すべての学生が少人数ゼミに参加して、それぞれの個性豊かな教員と直接に膝を交え、或は演習題目について討論をし、ゼミ論文や卒業論文の指導を受け、

千葉経済大学 定年退職に当たって

千葉経済大学名誉教授(平成十九年三月退職)

桜井 明治



私は大学の教員生活四十五年、愛知学院大学、中国の大学大学院、長崎県立大学、千葉経済大学と経ました。千葉経済大学は創立以来で十九年になります。私にとって一番印象に深いのは千葉経済大学です。それは、千葉経済大学と千葉経済大学の学生に深く感謝しているからです。

日本の大学の外国語教育、殊に未履修外国語の教育は、総じて大きな問題を持っており、多くが外国語をマスターする為に必要とされる三つの能力、会話・読解・作文の内でも多くが読解しか教えないのです。特に二十年前、三十年前には、未履修外国語に対する社会的需要が極めて低く、教員がマスターさせても使い道がなかったのです。教員は文法と読解の基礎を教えればそれでよかったのです。骨の折れるネイティブに通じる為の発音教授や会話のマスターなどの責任は負いません。私の中国語教育もその例外ではありませんでした。当時私は自分の研究に興味と遣り甲斐を感じこれに没頭していたので精力の九割が研究に注がれ、教育は残りの一割でした。

しかし一九八〇年代に中国の市場経済の急速な発展の影響で日本社会の中国語に対する需要が増した為か、殊に十九年前に千葉経済大学に就任した頃には、四十人のクラスで四・五人は中国語をマスターしたいという意欲を持って積極的に受講している学生が目に入るようになりました。こうなると、今度はなんとかしてこの学生たちに中国語をマスターさせてあげたい、できれば将来中国語を使つた仕事に就かせてあげたい、更には出来るだけ多くの学生に中国語

中国研修では、中国に立つ前に私は中国の大学の担当講師と授業の打ち合わせをファックスと電話で行い、現地での授業中は各クラスを聴講し、放課後各講師と次回の授業の為の検討をしていました。私が見ていた学生たちが、それに応えようと多くが一生の内でも一番勉強した三週間と言ってられる程勉強し、卒業式に現地の大学の先生や学生の前で行う中国語の五分間スピーチでは、多くの学生が原稿を見ずに全部暗記して立派にやり、出席者全員の大喝采を受け、「千葉経済大学の学生は優秀だ」と言う喚声に私は感激の余り大声を出して泣き出した場面もありました。

就任後十九年間、私の厳しい授業に立派に耐え、却って感謝してくれている多くの現役の学生や卒業生、またこうした場を与えてくれた千葉経済大学に心から感謝します。本当に有難う御座いました。

なお、四月から中国大学大学院で同時通訳者の養成の仕事に就きますが、私は千葉経済大学名誉教授として頑張るつもりです。

図書館講演会(5年間)

達人たちとの出会いを振り返って

平成十四年度に本学図書館の地域開放を記念して始まった図書館講演会も平成十八年度で五回を数えることになりました。市民の方と学内関係者で毎回百名を超える参加者があります。

講演者は作家、翻訳家、保育士の方々(別表)です。講師はいずれも図書館と深い付き合いをされている方でそれぞれの専門分野の体験に基づく図書館の活用、創作と本の関係などについてお話しいただきました。講演の後には質疑応答もあり講師と参加者の交流も図ることができました。



図書館講演会
「図書館であそぼう」
講演者 佐藤 洋二氏



講演後のアンケートでは様々な感想や意見が寄せられています。その一部を以下に紹介いたします。

「具体的な事例によって資料との出会いや発見に喜びを感じた」「楽しいひと時を過ごせました」「何が本に大切なのかを考へる機会になりました」「自分が知らなかったことの多さに驚きました」

こうした感想を目にすると、巧みな話術で独自の世界へ引き込み、笑わせたり驚かせたりしながら新しい発見へと繋げる講師の熱意を強く感じます。講演によって、参加者はいわば脳の「洗濯」をしているようです。

了されました。菊地氏の講演はお父さんお母さんたちへの子育て支援の意味もこめて実施され、「手遊び」を参加者と一緒に行うなど会場が一体となりました。辻氏の講演は翻訳という身近ではあるがあまり知られない世界をメールアドレスなど新しい図書館サービスの動向を交えて興味深く話されました。

一流の人、仕事と人生の達人との出会いは私たちが日頃忘れかけて心の奥にしまいかた色々「思い」を言葉やパフォーマンスの力で浮かびあがらせてくれるようです。会場を後にする参加者の表情にリフレッシュされた満足感があふれているのを毎回感じています。

年度	講師	演題
H.14	加藤 幸子氏 (作家)	青年期をどう生きたか ～一冊の本との出会い～
H.15	佐藤 洋二氏 (作家)	私の文学背景 ～苛酷な人生を生きる者 たちに寄せる深い愛のまなざし～
H.16	長谷川 撰子氏 (児童文学者)	子どもたちと絵本
H.17	菊地 政隆氏 (保育士)	子育てと本
H.18	辻 由美氏 (翻訳家・作家)	図書館で遊ぼう

経営戦略の基礎から応用へ



坂本ゼミ(経営戦略論演習)
経営学科 四年 村井 光

週担当者が要約してレジュメを作成し、それをゼミの仲間の前で発表します。そしてみんなでその中から問題や議題を出し合いそれについて議論を行っています。この際みんなの前で自分の作成レジュメを発表し、みんなで討論することは誰でも出来るものではありません。私たちが坂本ゼミに在る理由が、レジュメの作り方や討論のしかたなどの基礎的な発表力やディスカッション能力を伸ばすと共に、三年間を通じて経営戦略の基礎的な知識を歴史を追って学んできました。

そして三年次には経営戦略の文献の輪読と並行して、興味のある分野の企業三社(同業種)を四人ほどのグループに別れ、その企業の経営戦略について研究や比較を行って発表するグループワークも行いました。これから就職活動を行う上で、就職活動前に興味のある業界について深く知ることが詳しく調べられる機会にも繋がるので、とても貴重な経験になりました。就職活動を行う前にこのいった経験を通過してみんなで企業について学んでいくことは是非、私たちが行ってみたいと思います。

以上が坂本ゼミ(経営戦略論演習)の紹介となります。どのゼミにするか迷っている方は是非、私たちが行ってみたいゼミへ気軽に見学に来て下さい。

学芸員課程調査 実習に参加して

(3年間の軌跡をたどり)

平成19年3月経済学科卒業 関 明祥

私は、学芸員課程で毎年夏休みに実施される調査実習を三年間にわたり行なってきました。一年目の実習(日十六・九六・九・八)では民俗班に加わり海女について聞き書きや道具を採集する調査を行いました。初めて行なう作業に少し戸惑いはありましたが、午後には御宿町の様々な人に話を聞くことができました。海女さんが海に潜って海藻を採集するときのワ



カメ鎌を大学の資料として頂いたり、中々の成果をあげられました。御宿町の人々はとても親切で暖かい方々でした。知らない人から話を聞く機会は滅多になくとても良い勉強になりました。最初は緊張していましたが、話し手も真剣に話して下さるので、聞き手の私達も質問などをして会話の流れなど勉強になることは多々ありました。コミュニケーション力がつく良いトレーニングでした。将来営業職に就く時や、職場での対話に役立つと思いました。

三年目の実習(日十八・九・四・九・六)では、大原町坂水寺の墓碑を調査しました。

今回、調査した墓碑は観音堂の北側に安置してあった無縁仏です。まだ、調査ができていない墓碑は多くありますが、昨年の調査であらかじめ草木を撤去した調査しやすい三十二基を調査する事ができました。土砂や草木が取り除かれていたので、とても作業しやすかったです。

調査方法は、墓碑に番号をつけた大きさを彫ってある文字など個々の情報を調査カードに記入し作成した後、露出計を使い一眼レフのカメラで本格的な写真を撮影し、資料の一部を採掘する作業を二日間行ない、最終日に資料の簡単な整理をしました。拓本の紙が足りなかったため調査した全ての資料の拓本がとれなかったのが残念でした。

調査結果は、江戸時代から明治時代にかけての墓碑が多く、特に享保という時代が多いことに気が付きました。年代によって墓碑の形態も異なりその時々で形式も様々でした。現代にある墓にどのようか比較し同じ所、異なる所もわかりました。

今回石造物調査において勉強になる事は多くありました。初めて扱う一眼レフカメラの取り扱い方や、拓本も実際野外で行うのと屋内で行うのとでは全く違い良い経験になりました。

カメラでは、露出計を使い、絞りやシャッタースピードを調整し、普段行っていないアナログな撮影ができて楽しかったです。時問があるときにはこういう撮影も良いと思えました。出来上がった写真はどれも素晴らしいです。

拓本では、日の光が強く暑かったので水で濡らせた画仙紙がすぐに乾いてしまうので、正確にかつ素早く作業を行なう事が必須でした。数をこなしていくにつれ少しずつではあるが上手になった気がします。菩薩や如来など立体物の採掘が最も難しかったです。

これらは私たちにとても良い経験になったと思います。この体験を通じて今後の学生生活、就職などに役立てていきたいと思っています。



学芸員課程実習の様子

ゼミ紹介

日商二級の取得と コミュニケーション 能力訓練

小野ゼミ(財務会計演習)
経営学科 三年 鎌野 寛也
経営学科 三年 茂手木 隼人

私達が所属する財務会計演習は、会計情報を利用できるようになる事を目的とした演習です。その前段階として、日商簿記検定二級の取得が最初の目標となります。すでに取得している人は、その知識を利用して会計情報を読み取る訓練を行います。簿記が初めての人にはいきなり二級を目指すのは少々抵抗があると思いますが、初めての人はまず三級から挑戦します。基礎である三級の内容をある程度理解していなければ応用のある二級はより難しくなってしまいます。学習の内容としては、三級、二級、会計の論理を学習する三クラスに分かれます。ここでは主に三級、二級の学習方法について紹介します。クラス毎に分かれたら、始めに全員が同じ簿記の問題集を用意

して、それを順に解いていく形式になります。先生があらかじめ問題の範囲を指定し、各自その問題を解きます。ゼミの時間に解くのではなく、週に一度あるゼミの時間までに一通り問題を解きます。そして、問題を解く過程で自分が意味の分からない言葉や専門用語、解き方など「何故そうなるのか?」と疑問に思ったところがある場合はゼミの時間の中で質問し、他の学生が相手に分かるように答えて理解を深めます。この「相手に分かるように答える」ことにより、簿記の勉強だけでなく相手に自分の意見を伝えるコミュニケーション能力を訓練するのです。また、学生全員が分からなかった場合や説明不足の時は、先生に助言してもらいます。その助言の中には、回答のポイントだけでなく社会的常識や豆知識も紹介して下さるので、「なるほど!」と感心しながらさまざまな知識を蓄えることができます。会計の論理のクラスでは、財務諸表の利用に関する著書を題材に、社会に出て必要になる文章作成の方法や先に述べたコミュニケーション能力を重点的に訓練します。検定日が近づくと

業について調べるのは、いろんな観点から企業を調べる事が出来たのでとても参考になる事ばかりでした。坂本ゼミではこの他にも、私達が企画したスポーツ大会を行った事もあります。今までのような事を行ったゼミは全然無いのですが、坂本先生が積極的にいろいろ協力してくださり、体育館を借りてフットサルとバスケットをゼミの仲間達でやる事ができました。

このようにみんなでスポーツをやれる機会を通じて、ゼミの仲間や坂本先生との輪がより一層深めることができました。このスポーツ大会は、大学生活において大切な仲間作りの場となりました。

まだ私達にも慣れない所もたくさんありますが、坂本先生のサポートの下で経営戦略について深く、そして楽しく学んでいるゼミなので、私にとってはここで得られるものは数え切れないほど多くあり、そして将来へ繋げられる大きな財産になると思います。

ゼミ活動の様子

課外活動 団体紹介
軽音楽部
大学対抗ライブ
トーナメントで優勝

軽音楽部部长 (経営学科三年) 並木 佑輔



昨年度、軽音楽部はライブハウス ANGA で企画された、千葉の大学を集めた大学対抗ライブトーナメントに出場しました。出場校は千葉大学、帝京平成大学、敬愛大学、東京情報大学、そして千葉経済大学でした。この ANGA での企画は、普段関係の薄い他校の学



生と音楽やバンドを通じて交流を深めることができたり、優勝という大きな目標ができることで、軽音楽部全体の士気が上がり、部内の雰囲気も活気付いてくるため、部長の視点からみると非常にありがたい企画でした。

トーナメントの採点方法は、応援に来てくれたお客さんの入り。ドリンクのオーダー数。演奏の技術点。そして何よりライブ中の盛り上がり。このライブの盛り上がりというものは千葉経済軽音楽部の最大の武器でした。

実際にトーナメントが始まると、やはりプレッシャーから演奏するメンバーはいつもより緊張していたり不安そうに演奏する人が多くいました。しかし、これが軽音楽部のよいところでもあります。不安そうに演奏を補うかのようにはステージの下で応援して

学生の皆さんの健康を考えて

学生食堂「オアシス」 栄養士 久保真由美



大学生活を過ごす日々の中で、授業の合間のひとときをくつろぐ憩いの場として毎日多くの学生さん達に食堂をご利用いただいております。

中には親元を離れ一人暮らしをしていたりバイトやサークル活動で忙しく毎日の食生活も不規則になりがちで、インスタント食品やコンビニ等のお弁当、ファーストフードなどを利用する事が多い人もいます。手軽に取れる食事として時々利用するには良いのではないかと思います。そのような食生活が続くと栄養が偏るのももちろんのこと将来的に生活習慣病や味覚障害などの弊害をもたらす原因にもなります。そのような事を考えて学食では学生さんたちに健康な食生活を送ってもらう為に不足しがちな栄養を補えるよう野菜類を多めに盛り込んだり、既製品をなるべく使わない手作りメニューを手ごろな価格で提供できるように毎日の献立作りを考えております。また、学生さん



とによって学生の皆さんの食生活にもメリハリができ食堂に来る楽しみも出来ると思うので、これからはこういった企画を食堂で実施していくことも必要なのではないかと考えております。また健康に関する栄養情報などの提供等も合わせて出来るよう努力していきたいと思っております。

の好みの多様化に合わせて毎日勉きのこないようにランチメニューと丼物メニューでは日替り・週替りで提供したり、短時間で食事を取りたい人や手軽に食事を取りたい人の為に二階に併設されている売店では手作り弁当や手作り調理パン等の販売も行っています。

今年度は大学同窓会の提供企画として食堂のランチメニュー価格で季節に合わせたスペシャルメニューを定期的に販売させていただきます。毎週売り切れになる程皆さんに大変好評を得ています。このような企画提供があることを期待しております。

卒業生のことば

4年間を振り返って
 今までを振り返ってみると、大学生だった4年間には沢山の思い出がありました。入学して早々女子の少なさに驚いたこと、単位を計算しながら時間割を組み立てたこと、オープンキャンパスに参加し学校を高校生に案内したこと、2年生から始まったゼミなど、体験したことのない経験をいくつもしてきました。

この4年間で一番印象に残ったことは
 その中でも一番印象深かったことは「就職活動」です。これも初めての体験で、自分の将来を決める大切な経験でした。私の志望は、活動を始める前から金融関係の仕事と決めていたので、銀行や証券会社を中心に回りました。何社も説明会に参加し、筆記試験や面接を受けましたが、なかなか決まらず、一時期かなり悩み落ち込みました。周りが決まり始めたことにも焦りを感じました。しかしこの悩みは誰にでもあることだと、一緒に活動する人達とふれ合う中で知りました。

後輩へのアドバイスなど
 就職活動では、焦らず自分のペースで進めることが大切です。そして、何に対しても万全の対策をとることも重要です。履歴書作成の為の自己分析や筆記試験対策は早くから始めることが成功への大事な一歩です。これから就職活動を経験する皆さんへ、「就職活動」は大変なことも多々ありますが、得るものも多岐にわたる貴重な経験です。悔いの残らない進路選択をしてもらいたいと思います。

中央証券株式会社勤務
土田 未来
 平成19年3月経済学科卒業

教 員	職 員
○退職 (3月31日付) 宇佐美良雄 教授 (4月1日付名誉教授) 桜井 明治 教授 (4月1日付名誉教授) 田邊 悟 教授 (4月1日付客員教授) 中村 清司 教授 (4月1日付名誉教授) 田邊 勝巳 講師	○退職 (3月31日付) 海老原 信孝 入試広報センター参事 岩本 圭介 庶務課嘱託
○採用 (4月1日付) 菅根 幸裕 教授 (博物館概論など担当) 横山百合子 教授 (日本経済史など担当) 片岡 光彦 准教授 (日本経済論など担当) 東 三鈴 准教授 (労働経済学など担当) 黒川 太 講師 (産業組織論など担当) 太田 元 特任教授 (教養特別講義Ⅱなど担当) 小川 國彦 特任教授 (教養特別講義Ⅲなど担当)	○採用 (4月23日付) 高橋 康浩 庶務課嘱託
	○昇任 (4月1日付) 小泉 勝士 大学・短期大学部事務局次長・庶務課長事務取扱
	○配置換 (4月1日付) 石橋 貞男 入試広報センター主監 → 図書館課主監 石川 博文 図書館課係長 → 本部会計課係長 渡邊 直子 本部会計課 → 入試広報センター
	○担当変更 (4月1日付) 山内 聡 入試広報センター主任 (短大へ)

この4年間で一番印象に残ったことは
 大学生活の中で私が一番印象に残っているのはゼミです。私が所属していた山浦ゼミでは、管理会計や原価計算を学んでいました。私はもともと、計算や会計の分野は苦手な方なのですが、せっかく学べる機会なので自分の苦手意識を少しでも克服出来ればと思いこのゼミを選びました。山浦先生の教え方はとても丁寧で分かりやすく、苦手な私でも徐々に理解することが出来ました。そのおかげで、以前よりも苦手意識は感じなくなり就職先を選ぶきっかけにもなったと思います。

今後の抱負
 銀行はお客様との信頼関係がとても重要なので、自分の知識を高め、沢山の人の手助けと、視野を広げ自信を持って商品を提供出来るような行員でありたいと思っています。そのためにそのとき自分が出来る事を確実にこなし、積み上げて、たとえゆっくりであっても自分の力で行きたいと思っています。社会に出ると学生の時とは違う今までにない苦労や、辛いことも色々あるとは思いますが、挫けずに自分のペースを見失わず頑張っていきたいです。

株式会社千葉興業銀行勤務
矢島 裕美
 平成19年3月経営学科卒業

後輩へのアドバイス
 大学生でいられる4年間は、長いようで短いものなので、悔いが残らないように目標を持って過ごして欲しいなと思います。時間が自由に使える時なので、沢山の事にチャレンジして欲しいです。3年になり就職活動が始まると、焦りや不安が余剰になってしまうことがあるので、単位は出来るだけ早いうちに沢山取っておくと良いと思います。また、落ち込んだり悩んだりした時には支えあい、楽しみは共有出来るような素晴らしい仲間を見つければ良いですね。

この4年間で印象に残ったことは
 特にサークルや部活などには所属してなかったので、サークルなどでの思い出はないが、印象に残ったことと言えば、様々な人々に出会ったことだと思う。中学、高校とは違って、色々な人がいたように感じた。又、友達と飲みに行ったりするのは大学生ならではの感覚で、おもしろかった。でも、あまり飲みすぎると次の日、二日酔いで学校をサボるとかは……、気をつけて下さい。

今後の抱負
 幼い頃からこれが仕事に就くことができたので、一つの仕事をこなしていくのもよいが、様々な仕事を行って行きたいと思う。(駅係員、車掌、運転手など)。常に前向きにチャレンジしていくことで、自分の成長にもつながっていくと思うし、モチベーションをあげることによって、社会の荒波を乗り越えていきたい。

東京急行電鉄株式会社勤務
畠山 淳
 平成19年3月経済学科卒業

後輩へのアドバイス
 就職活動では、自分でやってみてよくわかったが、早い時期からめんどくさくないで取り組んだ方がいいと思う。時期が遅くなるにつれて、会社の数も減っていくので、早め早めに頑張っておきたいと思う。早く決まれば残りの時間(学校生活)もすこい楽になるし、たくさん遊べると思う。まあ、大学生だから、もうすでにたくさん遊んでると思うけど!!